

「まちで育む上町台地の子」の展示構成

上町台地で大人たちと子どもたちがともにつくる風景、伝えていくところ。積み重ねられてきた営みの来し方、今をたずね未来を見つめる展示です。背景として、子どもたちをとりまく社会の変化の様子を、人口構成の推移やまちの開発史、世相などから振り返るコーナーを設けています。続いて、上町台地を舞台に、かつての子どもたちにとって、忘れえぬまちの大人たちとの思い出のエピソードのご紹介。そして、今、上町台地界隈の社寺、PTA、町会や商店街、能楽堂や博物館、国際交流施設等々で力を注がれている、子どもたちとともに作り育む取り組みの数々を、担い手の方々のコメントを通してご紹介します。

謝辞

この展示は、上町台地ならではの子どもたちと地域の文化・暮らしに関わる多彩な取り組みや、懐かしい暮らしの風景について、取材にご協力くださったみなさまをはじめ、多くのご尽力によって実現しているものです。心からお礼申し上げます。

協力：秋田光彦さん、生國魂神社、生國魂・太鼓中、一心寺、上坂正治さん、上町台地からまちを考える会、大阪市立大池中学校PTAおやじバンド、(財)大阪国際交流センター、大阪歴史博物館、岡田孝輔さん、小川治海さん、岸本智嘉子さん、金恵美さん、高津宮、(特活)コリアNGOセンター、將軍地藏尊保存会、鈴木一男さん、東筆振興町会、中越慈子さん、中西美穂さん、(有)富士原文信堂、三島啓子さん、山本能楽堂、山本良一さん、吉見孝信さん、吉村健一さん、そのほかのみなさま(50音順)

U-CoRo独案内 (ゆーころ・ひとりあんない) vol.10

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 10

「まちで育む上町台地の子」(2010.2.1～5.28)

大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階北U-CoRo

発行日 2010年2月1日

企画 U-CoRoプロジェクト・ワーキング

編集 橋本 護/早川厚志/弘本由香里 デザイン 小倉昌美/北浦千尋

発行 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)

大阪市中央区平野町4-1-2

印刷 (株)国際印刷出版研究所

この冊子、企画内容に関するお問合せ先 TEL:06-6205-3518(担当:CEL弘本)

※NEXT21の3階以上は住戸フロアとなっておりますので、立ち入りはご遠慮ください。

表紙図版：山本能楽堂で連続して開催されている、子どもたちが能のいろいろを体験する教室「能で遊ぼう！」の一場面(写真提供：山本能楽堂)

独案内(ひとりあんない)＝まちや物事に不案内な人を助ける携帯便利な冊子のこと

この冊子は環境に優しい再生紙を使用しています

ゆーころ・ひとりあんない

U-CoRo独案内 vol.10



NEXT21/U-CoRoウィンドウ・エキジビション 10

まちで育む上町台地の子

2010.2.1 Mon — 5.28 Fri



ごあいさつ

かつて上町台地にも、大人と子どもの豊かな出会いの風景がありました。まちの人たちの思い出の中に見えてくるのは、子どもたちにとってオアシスみたいな存在だった交番とお巡りさん、一緒に相撲をとったり喧嘩の仲裁もしてくれた自転車屋のおっちゃん。銭湯の番台さんと子どもたちとの丁々発止のやりとり、夜警仲間とお酒を飲む父を迎えにいく子ども、近所の家族に混じって囲む食卓…。そんな風景の多くが、気がつけばすっかり姿を消してしまったかのように。

けれど、実はいまも、昔子どもの大人たちから将来大人の子どもたちへ、上町台地のことを伝える取り組みがまちのあちこちに息づいています。新しいマンションにやってきて暮らす子どもたちにとっても、代々上町台地に暮らす子どもたちにとっても、このまちでの思い出がかけがえのない人生の礎になるように。そんな願いが込められています。

U-CoRo ウィンドウ・エキジビション第10弾となる今回の展示「まちで育む上町台地の子」では、大人たちから子どもたちへ、地域の文化や地域とつながる暮らし方を伝えていく、上町台地ならではの多彩な取り組みの数々や思い出語りを通して、子どもたちを育むまちの力を見つめます。

主催：大阪ガス エネルギー・文化研究所(CEL)
企画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング



※ U-CoRo (ゆーころ)とは、NEXT21の1階「上町台地コミュニケーション・ルーム」の愛称です。
この窓をインターフェイスに、上町台地の時空につながり、出会いを紡ぎ、暮らしを育む取り組みを少しずつ重ねていくことができればと願っています。



悠久の上町台地で
考古学者になつてみよう
「歴博・わくわく子ども教室」



伝統行事の復活で
子どもとまちをつなげる
「方除地藏子ども祭り」



能から楽しく学び伝える
有形・無形の文化力
「能と遊ぼう!」



人形劇を通じて寺町と
出会う子どもたち
「なにわ人形芝居
フェスティバル」



子どもの健やかな成長を
願う地域の心の継承
「將軍地藏尊子供盆踊り」



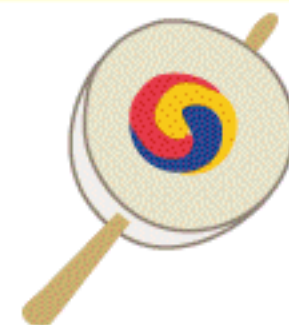
まちを楽しく
変えていく
「大阪市立大池中学校
PTAおやじバンド」



絵本で出会う子どもと
異文化
「アイハウス外国語絵本
読み聞かせ『アイアイ』」



いつか思い出す
「気づき」のための
1泊2日
「高津宮夏休み宿泊体験」



子どもへ伝える町衆の
伝統と心意気
「東地区子供太鼓中」



まちで育む 上町台地の子！

大人たちから子どもたちへ、
伝えるところ、
思い出のつづやき

今回の展示では、大人たちから子どもたちへと、地域の文化や地域とつながる暮らし方を伝えていく、上町台地ならではの多彩な取り組みの様子をご紹介します。お世話になった大人たちの思い出も掘り起こしながら、上町台地の子を育むまちの力を見つめていきます。



悠久の上町台地で考古学者になってみよう
【歴博・わくわく子ども教室】

「わくわく子ども教室」は1階エントランスと8階のなわ考古研究所などで開催。2009年度の下半期は第1土曜に「むかしの瓦の拓本体験」(8階)、第1・第3土曜には「手作りおもちゃで遊ぼう」(1階)を開催。事前の申し込みや参加費は原則不要。

■大阪歴史博物館
TEL: 06-6946-5728

寺井 誠さん
(大阪歴史博物館学芸員)

能から楽しく学び伝える有形・無形の文化力
【能と遊ぼう！】

山本能楽堂は国の登録文化財。この由緒ある能楽堂での「能と遊ぼう！」は、小学生を対象にした、2〜3ヵ月で10回のプログラムです。鼓や笛の体験もあり、能の魅力に楽しく接することができます。次回の募集などはホームページでもチェックが可能。

■山本能楽堂「能と遊ぼう！」係
TEL: 06-6943-9454

中西美穂さん・山本章弘さん
(山本能楽堂)

小道具の
工作もあり、
遊びながら能に
親しむ機会
です。

年長の子どもが親代わりだった戦前・戦中の松屋町。大空襲後には焼け残った我が家へ縁者が集まり、多いときは30人くらいで暮らしていました。

岡田孝輔さん(昭和16〜20年)

いつか思い出す「気づき」のための1泊2日
【高津宮夏休み宿泊体験】

小学生による境内での1泊2日の宿泊体験を夏休み中に実施。定員は30名で、1日目のお昼過ぎから2日目の夕方まで、小1から小6までの年の差のある子どもたち同士が、ボランティア・スタッフの大人たちと過ごします。毎年変わる多彩なメニューも魅力。

■高津宮社務所
TEL: 06-6762-1122

小谷真功さん
(高津宮司)

子どもへ伝える町衆の伝統と心意気
【東地区子供太鼓中】

いくたま夏祭の東地区子供太鼓中では、生國魂神社の旧東区内氏地にあたる中大江・南大江両小学校区の子ども有志が参加。いくたま夏祭(7月11・12日)の10日以上前から連日稽古が行われる。中大江校区は中大江公園、南大江校区は御旅所で稽古。

■生國魂神社
TEL: 06-6771-0002

田中俊彦さん
(枕太鼓 太鼓長)

絵本で出会う子どもと異文化
【アイハウス外国語絵本読み聞かせ「アイアイ」】

外国語絵本の読み聞かせを、大阪国際交流センター1階の交流スペースにて、毎月第2火曜、第3木曜(15:00〜15:30)、第4土曜(14:00〜14:30)の月3回開催。前後は会場での交流の時間。参加申込や参加費は不要。だれでも気軽に参加できます。

■(財)大阪国際交流センター 情報企画部
TEL: 06-6773-8989

康南姫さん・伊藤美恵子さん、
北中公子さん(読者ボランティア)

人形劇を通じて寺町と出会う子どもたち
【なにわ人形芝居フェスティバル】

人形芝居フェスティバルは、毎年4月の第1日曜に開催。一心寺を中心とした下寺町での開催とより広域での展開を一年おきに実施。2010年は拡大版の予定。また毎年8月24日には、一心寺で地蔵盆フェスティバルもあり、多くの夜店にぎわいます。

■なにわ人形芝居フェスティバル実行委員会
TEL: 06-6774-2877

高口恭行さん
(一心寺長老)



共生社会の未来の担い手を育む
【生野コリアタウン人権研修プログラム】

キムチづくり体験、ハングル入門講座などの体験学習とまちを歩きながらのフィールドワークから構成され、在日コリアンの暮らしに触れながら、多民族共生や韓日の歴史などについて学ぶことが基本です。毎年8〜9千人の子どもや大人が学んでいます。

■(株)コリアNGOセンター
TEL: 06-6711-7601

郭 辰雄さん
(株)コリアNGOセンター

戦前から家の前はとてにぎやかな商店街。まちのいろんな大人に見守られながらやんちゃに遊べたあの頃を、今も楽しく思い出します。

小川治海さん(昭和15年頃)

空心地や駄菓子屋など楽しい場所がいっぱい。自転車に乗って走り回ってました。みんなを見守ってくれたのが自転車屋のおちゃんでした。

吉村健一さん(昭和30年頃)

伝統行事の復活で子どもとまちをつなげる
【方除地蔵子ども祭り】

毎年8月23日の夕方から東上町公園で開催される、誰でも参加できる祭り。JR大阪環状線と玉造筋のあいだに残る懐かしい家並みの東上町と、再開が進む筆ヶ崎地区からなる東筆振興町会では、コミュニティ継承に日々、知恵を絞っています。

■服部商店(服部多喜男さん)
TEL: 06-6771-6588

服部多喜男さん
(東筆振興町会会長)

まちを楽しく変えていく
【大阪市立大池中学校PTAおやじバンド】

日本人と在日コリアンのPTA現・元役員と教員で結成されているバンド。テレビや新聞でも紹介され、市内はもとより各地から講演・演奏に招かれ、「生野区発・多文化共生のメッセージ」を発信。練習後の「反省会」が練習時間より長いのもご愛敬。

■大池中学校 古川教諭
TEL: 090-4278-6127

古川 正博さん(中列左端)
(大阪市立大池中学校教諭)

データで見る「上町台地の子」の65年 (データ資料出典: 国勢調査、大阪市統計書)

下のグラフは上町台地とその界隈にあたる中央・東成・生野・天王寺4区の国勢調査における人口推移です。1960年にピークを迎え、その後は郊外への人口流出もあって、2000年にはピーク時の6割以下まで減少。しかし近年は都心回帰の動きが強まり、人口は漸増に転じています。14歳以下の割合は1975年に若干増えた以外は一貫して漸減、急ピッチにまちなかの子どもが減ってきたことがうかがえます。一方、1990年以降は65歳以上人口が14歳以下人口を上回るなど、高齢化の進展が顕著。世帯あたり人員も、1955年には1世帯に4.63人で、2005年には2.06人。一人っ子の増加や三世帯家族の減少、高齢化による単身世帯や夫婦のみ世帯の急増などもその背景にあります。

